

## 体験学習をどうぞ 034

2023. 2. 2 (木)

【中学2年数学】

連立方程式

食塩水の濃度の問題⑤

きょうの体験問題です。

2つの容器A, Bがあり, 容器Aには濃度 $x$ %の食塩水が1kg, 容器Bには濃度 $y$ %の食塩水が800gはいつている。まず, Aから200gを取り出しBに入れてよくかき混ぜ, つぎに, Bから200gを取り出しAに入れたら容器Aの濃度は4%, 容器Bの濃度は8%になった。 $x, y$ の値を求めなさい。

### フロローグ

生徒A子: 「わお〜っ! わお, わお〜っ!

こりゃ, 歯が立たないわナ!

と, どちらさんもたまげるほど「歯が立たない」問題を載せてみました。

だから, 歯の悪い人は解かない方がいいでしょう…

じょうだんですよ, 冗談!

公立向けではない問題なのは確かです。

「なに, くそ!」と, 根性のある人だけ挑戦してみてください。

解答書を見ても,

「…ん???'という人は投げてしまいましょう。/(\*\_^\*)\コウサン!

さて, どうなることやら。

わくわくする問題です。

先生が, ですが…。

### 一部を抜き取って混ぜる問題

生徒A子: 「でもねえ…

これだけど, ただ, 食塩を出し入れしているだけじゃないの?」

ん!?

生徒A子: 「食塩水×濃度=食塩を3回使っているだけだよ。

No.30でセンセがキーワードですと, 言ったように,

”食塩水に含まれている食塩の重さだけで等式を作る”だけだよ。」

え?え?, もひとつ, え〜っ!

あなた、ど・ど・どして、急に”賢く”なったの？

生徒A子：「ふん！」

その通りです。

困難さというのは、解法をいくつも使い回すからで、  
一つしか解き方がないなら、それを使うだけですから

難しさがそれに吸収されてしまいます。

これが応用力の正体です。

応用力とは、難しい問題を解くから身につくのではなく、  
広い範囲の問題を解くことができる知識を覚えることで身につくのです。

知識ですから、だれにでも習得できます。

数専ゼミでお勉強されている”賢い”ひとたちは

この応用力を身につけているのです。

はははは…

## エピローグ

生徒A子：「笑っとる場合ですよ、こりゃ！」

はい、おおいに笑っている場合です。

では、ふつーの人にとっては超難問で、

数専ゼミで学んでいる人には”ふつ～う”の問題である

「一部を抜き取って混ぜる」問題で”あそんで”みましょう。

ははははh…

生徒A子：「ぎやはははh…！」



中2 数学・連立方程式 No.33

3 割合の問題（その2）

体験学習

■ 食塩水の濃度の問題⑤ー一部を抜き取って混ぜるー ■

【注】スマホの機種によっては、体験学習へのリンクができないものがあります。その場合には、PCでご覧下さい。

■ 演習問題は、数専ゼミ・山形・東原教室で個人指導を受けることができます。

■ 「中2 数学・連立方程式」★ 学習計画書 ★

([ブラウザのバック矢印](#)でこの文書に戻ることができます。)

## 連立方程式に強くなる数学専門指導の数専ゼミ

### 数専ゼミ・山形東原教室

〒990-0034 山形市東原町二丁目10番8号

TEL: (023)633-1086 / FAX: (023)633-1094

メールアドレス: [suusen@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:suusen@seagreen.ocn.ne.jp)